

若手SEのための合意形成の基礎（4114034）

若手SEのための合意形成の基礎

関係者が同じ土俵に乗り、納得感を得ながら合意形成を進めていくための

「関係者の頭の中を整理して、議論できる状態に持つていくための手法」「結論の選択を促すための手法」を理解し、演習やケースを題材とした体験実践を通して体得することを目指します。

開催日時	2014年6月10日(火) 10:00-18:00
カテゴリー	業務遂行スキル ヒューマンスキル
講師	寺池光弘 氏 (株式会社CACクロア 人材グループ マネージャ) ・株式会社シーエーシーにて、食品・製菓メーカー向けシステム開発・保守・運用・コンサルティングを経験後、CACグループにて人材開発に従事 ・名古屋大学卒、英国レスター大学MBA。
参加費	J U A S 会員/ITC : 33,000円 一般 : 42,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (井門堀留ビル)
対象	業務経験数年の若手メンバー (情報システム部門・情報システム子会社、SIer等) 初級
開催形式	講義、グループ演習
定員	20名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定番号	ITCC-CPJU9219
ITCA認定時間	7

主な内容

大事な会議、日々のちょっとしたミーティング。。。こんなことはありませんか？

- ・議論が空中戦になってしまう
- ・議論がかみ合わない
- ・問題解決のための合意形成が進まない

本コースでは、関係者が同じ土俵に乗り、納得感を得ながら合意形成を進めていくための

- ・関係者の頭の中を整理して、議論できる状態に持つていくための手法
- ・結論の選択を促すための手法

を理解し、演習やケースを題材とした体験実践を通して体得することを目指します。

ミーティングの生産性を上げたい、よりよい議論と合意形成を行いたい若手の方（会議を進める側、会議中に参加する側のどちらの立場でも有効です）におすすめのコースです。

<<特徴>>

「分かる」だけでなく「出来る」を目指すために・・・

- ・研修スタイル>>>受講者参加型（講師からの問いかけ、グループ討議、全体討議・ナレッジ共有）
- ・業務への適用イメージを持てるように、振り返りの場を多く設定し、気付きを与えます
- ・実際の業務で頻出するシーンである「運用業務の効率化」などを題材に発言例を交えて演習。実践的な力が身につきます。

<<内容>>

(1) はじめに (Why)

- ・ 受講目的 (必要性) の再確認
- ・ 現状の振り返り

(2) 合意形成の基本 (What)

- ・ 合意形成の5箇条 (フォレットの統合の概念)
 - ① 自分の考えを強引に正当化することを避ける
 - ② 議論に勝ち負けはない
 - ③ 根拠があいまいなまま合意しない
 - ④ 妥協や取引手段を採らない
 - ⑤ お互いの相違点を明確にする
- ・ 論理的に議論するための基本手法
「要約する」「確認する」「分解する」「結合する」「構造化する」

(3) ケースを題材とした体験実践と相互フィードバック (How)

- ・ 演習
 - ① あいまいな表現を指摘し、具体的な内容に落とし込む
 - ② 長い発言を指摘し、分かり易く要約する
 - ③ あいまいなテーマを個別テーマに落とし込み、議論し易くする
 - ④ 運用業務の効率化に関するグループメンバからの意見のとりまとめ
 - ⑤ 総合演習: コンセンサスゲーム ※チェックシートによる相互フィードバックあり

(4) 振り返り・全体Q&A

- ・ 現場で意識的に実践するためのアクションプラン